

第2回桜井市こどもまんなか推進会議 会議録		
開催日時	令和8年8月24日（月） 14時～16時20分	
開催場所	桜井市役所3階 災害対策本部室	
出席者	委員	岡本会長、小寺副会長、菖蒲委員、阪本委員、宮本委員、 中川委員、原田委員、吉田委員、丸橋委員、山本委員、 桐島委員、木口委員、高橋委員
	事務局	【こども家庭部】 こども家庭部長、こども政策課長、 保育教育課長、こども政策課副主幹 【教育委員会事務局】 教育委員会事務局長、教育総務課長、 学校教育課長、社会教育課長 【福祉保健部】 福祉保健部長、けんこう増進課長、 社会福祉課障害福祉係長
担当課	こども家庭部こども政策課	
議題 又は 案件	1 審議案件 （1）桜井市こども計画策定に係るアンケート調査結果について （2）桜井市こども計画策定に係る若者ワークショップの結果について （3）桜井市こども計画の骨子案について 2 その他	
決定 又は 取り纏め 事項	・桜井市こども計画策定に係るアンケート調査結果について、報告を行った。 ・桜井市こども計画策定に係る若者ワークショップの結果について、報告を行った。 ・桜井市こども計画の骨子案について、資料を提示し承認いただいた。 ・小規模保育事業者の公募及び選定結果についての報告を行った。	

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1 審議案件

(1) 桜井市こども計画策定に係るアンケート調査結果について

- ・事務局より、桜井市こども計画策定に係るアンケート調査結果について、報告を行った。
- ・委員より、小学 5 年生と 6 年生では、成長段階や悩み等に差があると感じていること、また、自己肯定感に関する質問については、小学 5 年生がどの程度内容を理解して回答しているのかについて、疑問に感じる、との所感が述べられた。
- ・これに対し、委員より、自己肯定感は、学年によって一律に捉えられるものではなく、家庭での出来事や友人関係など、こども一人ひとりの状況によって変化するものである、との意見があった。また、学校現場では、こどもの様子を日常的に把握し、授業や学級活動等を通じて自己肯定感を高める取組を行っている、との説明があった。
- ・委員より、自己肯定感が低いこどもや、家庭に居場所がない・誰にも相談できない、相談したくないと回答しているような困難を抱えている可能性のあるこどもについて、割合としては少数であってもその背景や理由をさらに分析する必要がある、との意見があった。
- ・委員より、自己肯定感については、小学 5 年生だけでなく、より早い段階からこどもの状況を把握できるよう、低学年や幼児期のこどもを対象とした意見聴取や調査についても検討してほしい、との意見があった。
- ・委員より、小中学生だけではなく、若者を対象とした調査や分析についても、自己肯定感だけに焦点を当てるのではなく、幅広い視点から分析する必要がある、との意見があった。
- ・委員より、調査結果を施策に活用するためには、回答の背景や理由を把握できる設問を追加するなど、設問の表現や内容についても検討する必要がある、との意見があった。
- ・こども計画を策定しても、必要とする人に情報が届かなければ意味がないため、計画の広報方法について、今後十分に検討する必要がある、との意見があった。

(2) 桜井市こども計画策定に係る若者ワークショップの結果について

- ・事務局より、桜井市こども計画策定に係る若者ワークショップの結果について、報告を行った。また、ワークショップで出された若者の意見が、桜井市の最上位計画である総合計画の方向性と合致していることから、若者の意見を聴取する取り組みには意義があり、全庁的にこどもや若者の意見を取り入れる体制を、全庁的に働きかけていくことについて、説明を行った。
- ・若者が出した意見がどのように扱われ、どのように反映されるのかなどを分かりやすく伝えることができるように、参加した若者に対してフィードバックを行ってほしい、という意見があった。

(3) 桜井市こども計画の骨子案について

- ・事務局より、桜井市こども計画の骨子案について、説明を行った。
- ・計画の名称について、「さくらい ひだまり計画」とすることが承認された。
- ・委員より、こどもや保護者が集い、交流できる場所を整備・充実してほしい、との意見があった。
- ・委員より、計画の体系に示されている施策について、新規の取り組み、既存事業の拡充及び現在実施している事業を明確に区分して示してほしい、との意見があった。
- ・委員より、計画の体系に示されている施策の名称が抽象的なので、具体的な取り組み内容が分かるように記載してほしい、との意見があった。

2 その他

- ・事務局より、令和9年4月開所に向けた小規模保育事業者の公募及び選定結果について、報告を行った。

<特に意見なし>

資 料	【資料1】 こども・若者の生活や意識に関するアンケート調査結果報告書 【資料2】 桜井市こども計画等策定のための若者ワークショップ報告書 【資料3】 さくらい ひだまり計画（案）骨子案
-----	--